

稲門フィラテリー 第90号

2023年12月1日発

<http://post-stamp.org/wasephila.html>

稲門フィラテリー第24回総会開催

2023年10月22日、稲門祭に合わせて稲門フィラテリー第24回総会が開催された。すみわたる秋晴れのもと、早稲田には大勢のOBや学生が集まり、地方の稲門会が出店する屋台や応援団によるパフォーマンスでキャンパスは大いに賑わっていた。

今年、稲門フィラテリーに割り当てられた会場は、正門を入ってすぐ右手の3号館606教室。会場には16名の会員が参集し、12時に総会が始まった。

池澤会長による挨拶と2023年度の活動報告および2024年度の活動計画の報告に続き、会計担当からは会計報告と予算、会計監査報告があり、可決された。

会員からの意見として、年一回の総会以外にも会員が集まる機会があると良いのではといった意見もあり、今後の課題として検討することとした。

記念講演は、鎌倉会員による「関東大震災100年」。今年は関東大震災が発生してから100年にあたることから全国切手展JAPEX2023でも企画展示が行われ、鎌倉会員の監修のもと企画が進められた



鎌倉会員による記念講演

が、今回の講演ではそのJAPEX2023に出品された鎌倉会員自身の作品から抜粋された震災にまつわる興味深いマテリアルやその背景にある物語が紹介された。関東大震災100年目にふさわしい記念講演となった。

懇親会については例年場所を提供いただいた高田牧舎が人数の関係で貸し切り困難となり、今年は高田馬場駅近くの居酒屋「さかえや」での開催となった。

年々参加者が減ってきているものの、こうして顔を合わせてお互いの無事と健康を確かめあう機会は大切にしていきたい。来年も早稲田でお会いしましょう。

アルバム稲門祭 2023

総会当日のキャンパスの様子を写真でお届けします。（撮影：2023 年 10 月 22 日）





稲門祭当日、キャンパス内で実施されていたスタンプラリーの台紙

懇親会 さかえや高田馬場總本店

撮影：2023年10月22日



また来年、早稲田でお会いしましょう！

2023 年日本切手発行状況

小川 義博

2023 年の特殊切手発行状況は表 1 の通りで発行 34 件、387 種類、発行枚数 82,877 万枚、購入必要金額 30,505 円（シート購入考慮せず）であった。これを過去とくらべると発行件数は 2006 年の 31 件、種類は 2011 年の 357 種類に近いが、発行枚数は昨年よりは約 3000 万枚多く 2010 年頃の枚数である。購入必要金額も 2010 年頃の金額であり、全体として 10 年前の発行状況に戻った数値であった。しかし、昨年指摘したシート購入による切手の重複購入を強いられることは減少せず、今年も 4 万円近くになり、切手収集が気軽にできる趣味ではなくなっている。更に発行内容別に整理すると表 2 のような結果が得られた。

参考までに私の DATABASE では 2023 年末現在日本切手発行件数は 2784 件、種類は 12179 種となっている。

これらの結果を個々に整理してみるといくつかの疑問と検討すべき問題を感じた。

◎記念切手の意味と発行目的

記念切手発行の少なさが目立ち、件数、種類とも全体の 10% にも満たない。それ以上に発行枚数に至っては 2% という少なさである。記念切手の平均発行枚数は 60 万枚にす

表 1 2023 年発行切手一覧

	発行目的	通 称	種類	枚数 万枚
1	グリーティング切手	切手趣味への招待	2	1
2	グリーティング切手	ハッピーグリーティング	6	5500
3	グリーティング切手	グリーティング（シンプル）	3	9000
4	グリーティング切手	夏のグリーティング	20	3400
5	グリーティング切手	海のいきものシリーズ 第 7 集	10	300
6	グリーティング切手	グリーティング・アニメキャラクター切手	20	3700
7	グリーティング切手	秋のグリーティング	20	3300
8	グリーティング切手	グリーティング切手「ボスクマ」	20	2700
9	グリーティング切手	グリーティング（ライフ・花）	30	6530
10	グリーティング切手	花の彩りシリーズ 第 1 集	10	5200
11	グリーティング切手	冬のグリーティング	20	4000
12	シリーズ切手	スヌーピーのなかまたち	10	3000
13	シリーズ切手	自然の記録シリーズ 第 3 集	10	2000
14	シリーズ切手	春のグリーティング	12	3990
15	シリーズ切手	自然の風景シリーズ 第 2 集	10	2500
16	シリーズ切手	自然の風景シリーズ 第 3 集	10	2500
17	シリーズ切手	江戸ー東京シリーズ第 3 集	20	1800
18	シリーズ切手	My 旅切手シリーズ第 8 集	20	2400
19	シリーズ切手	おもてなしの花洲ーズ 第 20 集	10	4300
20	シリーズ切手	美術の世界シリーズ第 5 集	20	3500
21	シリーズ切手	絵本の世界シリーズ第 6 集	10	2500
22	シリーズ切手	おいしいにつぼんシリーズ 第 5 集	20	2800
23	記念切手	G7 広島サミット	5	500
24	記念切手	日・ペルー外交樹立 150 年	10	500
25	記念切手	日・ベトナム外交樹立 50 年	10	500
26	年賀切手	年賀切手令和 5 年用	2	6
27	年賀切手	年賀切手令和 6 年用	4	1960
28	毎年発行	切手趣味週間	3	500
29	毎年発行	国土緑化（岩手県）	5	500
30	毎年発行	ふみの日	20	2800
31	毎年発行	第 78 回国民体育大会	10	400
32	毎年発行	国際文通週間	1	200
33	販売品	音楽でありがとう切手	3	90
34	普通切手	動物・花・国立公園切手	1	

ぎず、グリーティング切手の 1/5、シリーズ切手の 1/3 の発行枚数である。過去を振り返ってみると図 1 の様にかなりばらつきがあるが 2010 年以降記念切手の枚数の減少が明らかである。1 種当りの発行枚数を 1990 年以降の皇室関連記念切手（6 件 14 種）の平均発行枚数 1914 万枚のせめて 6 分の 1、グリーティング切手の発行枚数 300 万枚程度での発行を期待できないであろうか。

表 2 発行目的別切手発行状況

発行内容	件数	種類	発行枚数 万枚
グリーティング切手	11	161	43631
シリーズ切手	11	152	31290
記念切手	3	25	1500
毎年発行	5	39	4400
年賀切手	2	6	1966
販売品	1	3	90
普通切手	1	1	
合 計	34	387	82877

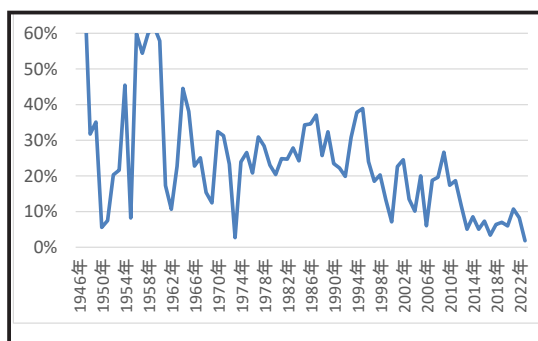


図1 記念切手発行枚数割合の推移

発行件数の少なさを発行目的から検討してもよいのではないか。2023年の3件はすべて外交関連事項である。最近15年の記念切手を振り返ると外交関連記念切手が非常に多く発行されている。これと逆に1970~2000年代に多く発行されていた医学関連、学術関連の記念切手が極端に少なくなっているようである。記念切手発行内容を時系列に並べてみると、郵政民営化の影響が感じられる。民営化とは逆に記念切手発行には国・官の影が大きくなってきたことを感じる。今後は記念切手の発行の内容も注視していくことが必要であろう。



3件のみの2023年の記念切手

ベトナム国交50年、ペルー国交150年、サミット切手までシールとなり記念切手はすべてシール切手となった。今後は皇室関係切手が行幸行事の国体、国土緑化も含めいつシールになるか注意される。

◎国際文通週間切手が1種発行に

1958年広重の東海道五十三次京都の浮世絵切手1種で始まり、1987年2種、1994年3種、2013年4種と徐々に種類を増やし2021年には7種、2022年は5種と増え

てきたのが突然1種になってしまった。理由は海外郵便料金の値上げと従来の4地帯区別が5地帯区別になったことであるらしい。しかし、定型書状の新料金表は表3の通り、今までと同じ、はがき差額切手37円(100-63)、100,120,140円切手、5種の発行で発行作業に変わりはないのではと考えた。

では、なぜ1種になってしまったのか。来るべき時がきたかと考えた。それは郵便窓口作業の負担軽減のためであろう。国際文通



1958年発行 最初の国際文通週間切手



2023年国際文通週間で発行された唯一の切手なぜか利用が少ない第5地域アフリカ、南米の料金160円である。料金改定の時点で160円の普通切手が存在しないのでお茶を濁す形での発行か

切手は料額多種、目打シート発行で、他の特殊切手のようなシール発行が出来ない。

窓口ではそれぞれのシートから必要種を目打を傷つけることなく切り出す作業が求められている様子

からいつまでこの作業が続くかと考えていた。目打に

注意して折り目を付け、シートから切り離す手間はシール切手シートでの販売が一般的になっている窓口業務には相当のストレスになっているであろうと考えていたからである。この機会に今回の料金表に使用されるであろう普通切手を振り当ててみたのが表3である。はがきと第1から第4地域には花の普通切手3種が該当するが、第

表 3 海外郵便新料金に該当する切手

	第 1 地帯	第 2 地帯	第 3 地帯	第 4 地帯	第 5 地帯
地域	中国、韓国 台湾	第 1 地帯以 外のアジア 諸国	中近東、オセア ニア、カナダ、メキ シコ、ヨーロッパ	アメリカ	南米 アフリカ
定型 書状	120 円 		140 円 		160 円 該当切手なし
葉書	すべての地域 100 円 		差額用 37 円 該当切手なし		

5 地域の 160 円、はがき用差額切手 37 円はみつからない。ふと、2015 年発行海外年賀切手（差額用）が文通週間切手に化ける過程で「海外グリーティング」という言葉が使用されたのを思い出した（表 4）。ここまでして特殊切手を発行した姿勢が突然 普通切手を代用させる姿勢になったことは寂しい限りであ

表 4 海外年賀切手が国際文通週間切手に化けるまで

	シートの表記	切手
2014 年	平成 27 年用 海外年賀切手（差額用） Special 18-yen Stamps for International Airmail Postcards	
2015 年	海外グリーティング（差額用） Special 18-yen Stamps for International Airmail Postcards	
2016 年	海外グリーティング（差額用） Special 18-yen Stamps for International Airmail Postcards	
2017 年	海外グリーティング Special 8-yen Stamps for International Airmail Postcards 海外グリーティング（差額用）	
2018 年	海外グリーティング Special 8-yen Stamps for International Airmail Postcards 海外グリーティング（差額用）	
2018 年 から 2022 年	国際文通週間 International Letter-Writing Week	

る。せっかく「海外グリーティング」という発想が出たのであるから、せめて海外宛はがき料金の 100 円切手が 5 種（5 枚）で使い切れる海外グリーティング切手シート（シール）の発行を期待したい。ペンフレンド（死語？）との交際、母国への絵葉書に旅レポを書くインバウンドの方々に役立つのではないかと考える。その結果を評価し定形郵便料金の海外グリーティング切手も検討されることを期待したい。加えて、蛇足になるが海外で評価の高い切手趣味週間切手が昨年に続いて過去に発行された浮世絵切手の二番煎じになっていることがある。

◎とんでもない切手が販売品に

2015 年から販売品という名で切手が発行（販売）されてきたが 2023 年は「音楽でありがたうを伝える切手」3 種が小型シートで発行された。この切手でありがたうを伝える相手は携帯を利用し、インターネットに接続している人でなくてはならないようで、うっかり使用すると失礼になり不快をあたえてしまうもので、使用する者には切手料額以上の

出費を求め、相手にとんでもない手数と負担をかけるものである。しかも、レターセットをつけず切手 3 枚だけで 500 円と 2 倍の価格、レターセットをつけると 1000 円である。奇をてらい、話題性を求めたお粗末な切手である。

過去の販売品はどんなものが販売されたのか整理したのが表 5 である。販売品として 22 件販売され、付録的なものと一緒に発行された切手は 163 種類にのぼり、2015 年からほぼ毎年発行されているが 2020 年代には幸いにも少なくなっている。



音楽切手の小型シートと切手の拡大図
通常のシートよりシールを2重にするため分厚い用紙になっている。中央より少し上にミシン目が入っており切手とタブに分けられる。タブに **OPEN** と剥がすことを促す部分があり、めくると QR コードが有り、携帯で読み取ること、「Spotify」という音楽配信サービス利用ソフトのダウンロードを求められる。そして親切にも「インターネット接続、通話料はお客様の負担です」と書かれている。



2015年に最初に販売品として 販売された小型シート

秋のグリーティング・アニメキャラクター発行の7日後発売された。レターセット込みで1080円。現在、不思議なことに郵便会社のホームページで探しても見つからない。



「和の食文化シリーズ 特別編」のシート

6種の和菓子を折り重ねて、同じく折った解説紙と右の表装部でくるみ製本で四季の和菓子の豆本をつくるというもの

種類を整理すると My 旅シリーズ関係のレターセットとケース付きシート・小型シートで半々ぐらいになっている。レターセットは常識で理解できるものだが、シート・小型シートに問題を感じる。切手料額が500円、1000円切手を6種、4種と同時発行。82円切手の24種、25種シート発行。音楽切手同様にその内容の理解に苦しむのが、「和の食文化シリーズ 特別編」のシートと「ポケモン

表5 販売品の年別販売数

年	件数	種類
2015年	1	3
2016年	4	20
2017年	6	46
2018年	5	42
2019年	1	5
2021年	3	41
2022年	1	3
2023年	1	3
合計	22	163

切手 BOX ～ポケモン
カードゲーム 見返り
美人・月に雁セット」
の付録である。切手
は折り紙、カードゲー
ムのおまけ扱いであ
る。このような販売
品が切手収集継続意

欲を奪うことのないように今後、販売されない
ことを期待する。

◎凸版印刷が TOPPAN に

9月発行グリーティング（ライフ・花）
切手シートに見慣れない横文字を見つけた。
新たな海外の印刷会社名かと見過ごしかけ、
よく見ると、「**TOPPAN EDGE INC**」であっ
た。印刷会社としてのイメージを払拭する
ためテレビコマーシャルを始めた凸版印刷
KKの社名変更がこんなところに見つけられ
た。しかし、切手印刷では増々 TOPPAN の
役割は増しているようだ。発行件数、種類、
枚数別に印刷会社の占める割合を整理し
たのが図2である。昨年、70%を TOPPA!!!
したのが（会報86号14p）、今年はつい
に発行枚数で80%を TOPPA!!! した。フレ
ーム切手なども考慮すると特殊切手の世界は
TOPPAN の独壇場といえよう。おかげで特
殊切手に占める国産切手の割合が2010年
頃に戻ってきたことがわかる（図3）。これ
が円安の要因かは分からないが今後の推移
に注意したい。

◎その他の留意事項

2014年に始まり今年の第20集196種で
「おもてなしの花シリーズ」が終わったか
と思ったら、「花の彩りシリーズ」なる花シ
リーズが始まった。このシリーズ、従来のシ
リーズ切手でなくグリーティング切手として発

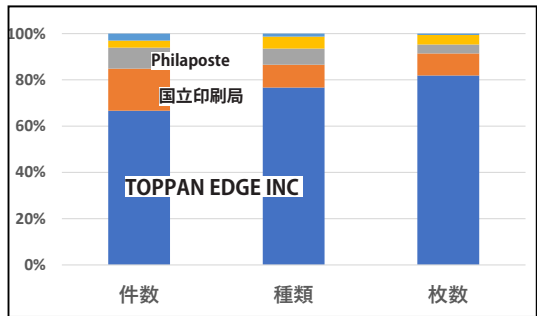


図2 特殊切手印刷に占める印刷会社の割合（枚数）

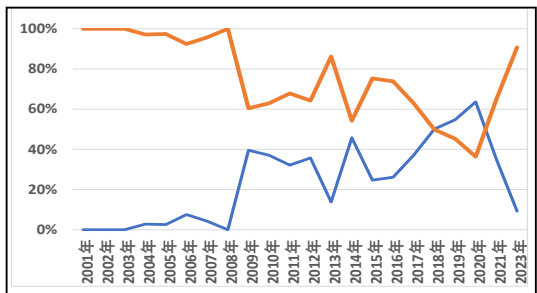


図3 特殊切手の国内、海外に割合（枚数）

行された。これで日本切手に花を描いた切
手が増々咲き乱れることになった。いまだ
も少なく整理して約1600種の切手が開花
している。これは日本切手の14%になる。
今後もこのような発行が続くのであろうか。

簡易書留料金が30円値上げされ、普通切
手が2年ぶり発行されたことで2つのこと
を知った。三陸復興国立公園という国立公
園名ができていたこと、旧料金の320円切
手が一定期間であったが、他の郵便切手類
に手数料無しで交換できたことである。
上を占め、過



三陸復興国立公園



グリーティング切手の
花の彩りシリーズ切手

悪趣味をコラボする(切手と厠) 6.

2 つ DATABASE で

KEYWORD 「蒔絵」「染付」「絵本」で検索

89 号の記事を準備していたら意外なものがコラボしていると PC が教えてくれた。編集幹事の助けに少しでもなればと思い、少し切り口が疑問だが整理しておくことにした。蒔絵、染付、絵本の 3 つである。

蒔絵

漆工芸の一つ、漆で絵や文様を描き、漆が固まらないうちに蒔絵粉(金・銀などの金属粉)を蒔いて表面に付着させ装飾をする蒔絵。正倉院宝物に蒔絵の技法工程がみられることから、蒔絵は奈良時代に始まったと言われる伝統工芸品であるから自ずと国宝等にもなって 21 種の切手(シリーズ切手 10 種、普通切手 8 種、記念切手 3 種)になっている。中に同一デザインが普通切手に 5 種見られた。蒔絵表 1. 蒔絵作品別切手数を作品で整理する

作品名	数
梅蒔絵手箱	5
春日山蒔絵硯箱	4
葦穂蒔絵鞍	2
八橋蒔絵螺鈿硯箱	2
俱利迦羅龍蒔絵経箱	1
光琳蒔絵佐野渡硯箱	1
桜蒔絵硯箱	1
舟橋蒔絵硯箱	1
初音蒔絵硯箱	1
豆兔蒔絵螺鈿硯箱	1
葡萄蒔絵螺鈿聖餅箱	1
片輪車螺鈿蒔絵手箱	1
合 計	21

と表 1 の様に硯箱 11、手箱 6、経箱 1、餅箱 1 と箱物が多く切手になっている。切手デザインとしては箱全体をデザインしたものと、部分トリミングに分けられる。屏風などに比べ小



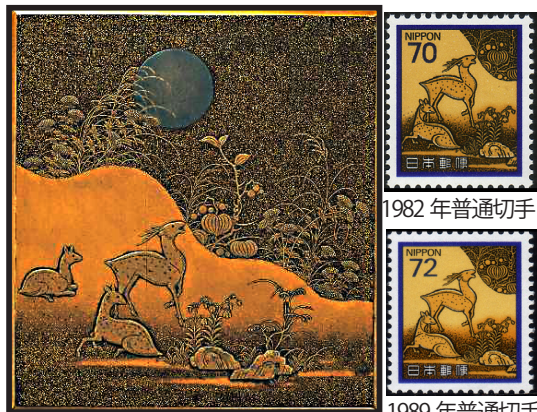
1991 年馬と文化シリーズ
光琳蒔絵佐野渡硯箱

1993 年ポルトガル友好記念
葡萄蒔絵螺鈿聖餅箱

2021 年国宝シリーズ
俱利迦羅龍蒔絵経箱

さな作品をトリミングしている。同じ蒔絵がトリミングを変えて 4 種の切手になっていたり、箱の表蓋の裏側が切手になっていたりする。

3 通りのトリミングで発行された蒔絵の切手



1982 年普通切手

1989 年普通切手

重文 春日山蒔絵硯箱
根津美術館所蔵



2022 年美術の世界シリーズ 第 4 集

作品全体が描かれた切手



1978 年国宝シリーズ
舟橋蒔絵硯箱

1968 年国宝シリーズ
片輪車螺鈿蒔絵手箱

1987 年国宝シリーズ
八橋蒔絵螺鈿硯箱



2011 年切手展
(小型シート)

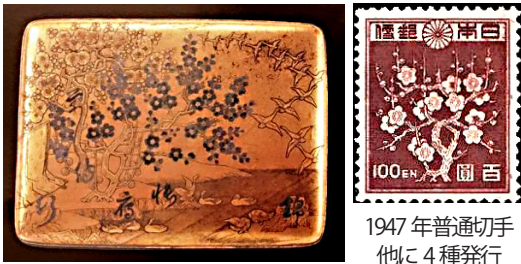


豆兔蒔絵螺鈿硯箱
蓋裏



東京国立博物館蔵
硯箱

トリミングの特定をしていてどうしてもできなかった蒔絵切手がある。5 種発行された梅蒔絵手箱である。資料が少なく難しいが戦争直後の切手発行事情があったと推測される。



梅絵手箱 静岡三島神社神宝 国宝
トリミングが私に特定できない蒔絵切手

このように切手から蒔絵を大きくとも両腕に入る伝統工芸品と考えるが、厠 DATABASE のヒット資料を知り、考えを正さざるを得ない事となった。84 号内容と重複することをお許しいただき紹介すると、そのヒット品は 山水花鳥蒔絵螺鈿箱という 38 × 41 × 54cm とかなり大きい箱である。江戸時代に長崎・出島からヨーロッパに送られた記録があり、パリ万博に展示され、現在はヴェルサユエ宮殿

プチ・トリアノン（庭園内の離宮）に収蔵されている。この箱の使用目的は椅子便器、もしくはトイレボックスである。止め金具をはずし蓋を開けると内側には朱色の漆が塗られ、同色のビロードが張られた便座があらわれる。側面を蒔絵の花唐草で縁取りし、内に窓を設け、花鳥や山水の図が描かれている。おかげで下の様な蒔絵作品を知ることができた。



草花犬螺鈿蒔絵筆筒



吉野山蒔絵棚

もう 1 つの工芸品がヒットした。染付磁器である。

染付磁器

白色の陶土で成形した素地にコバルトが主な原料の呉須で絵付けをし、その上に透

表 2. 切手になった染付陶器作品

作品名	数
染付有田皿山職人尽し 絵図大皿	1
染付芙蓉手 VOC 字文皿	1
瀬戸染付焼	1
染付兎水葵図大皿	2

明なガラス釉をかけて高温で焼き上げた染付。多くの染付便器が厠 Database で

ヒットしてくるが切手 Database でヒットしたのは、わずか 5 種である (表 2)。作品と切手をみると落ち着きのある切手になっている



山水花鳥蒔絵螺鈿箱



2003 年伝統工芸
佐賀・伊万里・有田



染付有田皿山職人尽し絵図大皿



2003 年
江戸開府 400 年シリーズ 染付芙蓉手 VOC 字文皿



2020 年
美術の世界シリーズ
染付兎水葵図大皿



ようである。

厠 Database では会員の年齢であればご存知



の大小染付
便器がうん
ざりするほ
どヒットし
た。中に染
付陶器の贅
を尽くした
厠がヒット
してきた。

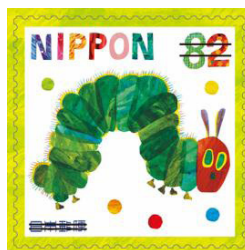
◎会報 86

号で絵本
「さむがり

やのサンタ」を厠 Database 検索した時、「絵本」
でヒットしたこと、切手 Database でもシリー
ズでこの年末には 70 種がヒットしてくること
から絵本で整理してみた。

絵本

童画等も含めると切手は絵本の世界シリー
ズが 7 集も発行されたこと等で 100 種を超



2018 年
はらぺこあおむし



2019 年
ぐりとぐら

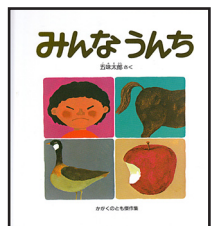
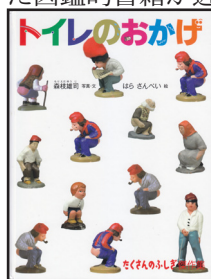


2020 年
アレクサンダと
ぜんまいねずみ



2021 年
しろくまちゃんの
ほっとけき

える切手が発行されていると切手 Database
が教えてくれた。厠 Database から 20 以
上の絵本がヒットしてきており、他に児童向
けの住宅、生活環境の角度からトイレを扱っ
た図鑑的書籍が近年多く発行されている。一
般書に比べ児童書では排泄物を主題に動物の食べ
物と排泄物の関係を取り
上げたり、厠関係事項で
は児童書から教えらるこ
とが多いように感じる。



小川義博



丸型ポストフェスティバル 2023 に参加して

池澤克就

切手を集めていると自然と郵便局やポストにも興味が湧いてくる。私も街中で丸型ポストやちょっと変わったラッピングポストなどをみかけると写真におさめ、ポストをモチーフにしたグッズがあると思わず購入してしまう。

ところで、世の中には丸型ポストに興味を持つ人の集まりというものがあり、そうしたポスト好きな人たちが主催する「丸型ポストフェスティバル」なるイベントが毎年全国持ち回りで行われているが、今年初めて参加してみたので報告したい。

今年の丸型ポストフェスティバルは、『丸型ポストフェスティバル 2023 in 愛知 ～心と地域をつなぐ“ポスト宗春”の輪～』のスローガンのもと、2023 年 11 月 11 日に名古屋で開催された。名古屋の中心地、サンシャイン栄にて行われたオープニングイベントに先立ち、当日は名古屋市北区光音寺町にある福德郵便局前の丸型ポストの塗りなおし作業が行われるとのことなので参加することにした。

福德郵便局前に設置された丸型ポストは、地名の「福德」にちなんで常滑焼の七福神と宝船が載せられたおめでたいデザイン。あらかじめ古い塗装がはがされ白い下地を塗られた丸型ポストを、地域の子供たちがローラーとポスト専用の塗

料を使って塗りなおしていく。せっかくなので私も作業に参加させていただいた(写真 1-4)。丸型ポストは意外と凹凸が多く、ローラーだけでは細かい箇所まで届かないため、後半は刷毛を使った作業となる。作業は、各地の丸型ポスト修復に関わってこられた元佐原郵便局長の若林正浩さんと小沼隆行さんの指導のもとで進められた。塗り直しが完了した丸型ポストは艶が増し、全身が輝いて見えた。



写真 1, 2 福德ポスト塗りなおし作業



写真 3, 4 塗り直しが完了したポスト



写真5 ポスト宗春と宗春ロマン隊の皆さん



写真6 ポスト宗春と斎藤吾朗先生

2010年11月、名古屋錦通りに尾張七代藩主徳川宗春公が載せられたポスト「ポスト宗春」が設置された。今回のフェスティバルのホストとして活躍されたのは、このポスト設立に関わった NPO 法人宗春ロマン隊の皆さん(写真5)。宗春公が乗ったポストをデザインしたのは西尾市在住の洋画家・斎藤吾朗先生(写真6)。以前から Facebook でつながっていたが、今回初めてお会いすることができた。



写真7 式典に登壇された河村市長



写真8 河村たかし名古屋市長と

サンシャイン栄の地下にあるグランドキャニオン広場で行われた丸型ポストフェスティバルのオープニング式典には河村たかし名古屋市長が登壇されたが(写真6)、河村市長は宗春に仕えていた河村秀根の兄の子孫にあたり、宗春とも縁の深い関係とのことで今回のイベントにも協力いただけたとのことであった。せっくなので市長と一緒に写真を撮っていた(写真8)

イベント会場には名古屋中郵便局の臨時出張所が開設され、ポスト宗春をデザインした小型印も使用された(図1)。小型印をデザインされたのも斎藤先生とのこと。



図1 ポスト宗春をデザインした小型印と
斎藤吾朗先生のサイン

式典の後は場所を移してパネルディスカッションと意見交換が行われた。ポスト宗春の設立の経緯や、熊野本宮大社にある黒い八咫鳥ポストに込められた平和への願いなど、ポストにまつわる興味深い話を聞くことができた。全国には約4000基の丸型ポストが設置されているとのことだが、そうした丸型ポストの修復や美化清掃に関わっている方たちの取り組みなども紹介された。名古屋市内には6本、愛知県全体では200本の丸型ポストが、まだ現役で活躍しているそうである。



写真9 パネルディスカッション



写真10 パネルディスカッション会場



写真11 懇親会

イベント最後の懇親会では鳥取や徳島など遠方から来られた各地の郵便局長さんと挨拶することができた。今回のイベントに参加されたメンバーは郵趣家以外の方が多く、切手収集家とはまた違った視点で手紙文化の振興を考えられていたのが新鮮であった。イベントの企画宣伝や運営に尽力された宗春ロマン隊の皆様、また名古屋市内のポストをご案内いただいた丸型ポスト写真家の庄司巧さんにこの場を借りて感謝したい。

丸型ポストの会 (Facebook 版)

<https://www.facebook.com/groups/maru.post/>

全国郵趣大会 2023in 札幌

2023年9月23日、ホテルポールスター札幌にて、公益財団法人日本郵趣協会主催の全国郵趣大会 2023in 札幌が開催された。稲門フィラテリーからは鎌倉・池澤両会員が参加した。

大会では顕彰事業セレモニー、テーブルバザール、1リーフ展人気投票、瀧川忠氏と山崎英氣氏による記念講演、山崎富男氏と斎享氏のセミナーが開催され、全員での記念撮影のあと盛大に記念パーティーが行われた。

顕彰事業セレモニーでは、2023年度の郵趣活動賞を受賞した震災切手研究会の代表者として鎌倉会員が壇上にあがり表彰を受けた。



郵趣活動賞を受賞した震災切手研究会

(代表：鎌倉会員)



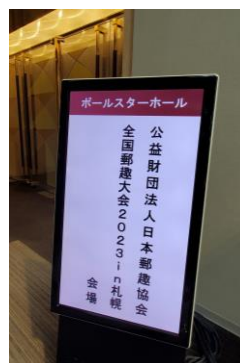
大会会場



記念カバーと小型印



顕彰事業セレモニー



9月23日は北海道文学館が開館記念日で入館料無料であった(記念スタンプと小型印)

JAPEX2023 の記録

2023 年 11 月 3 日から 5 日まで、浅草の東京都立産業貿易センター台東館で第 58 回全国切手展 JAPEX2023 が開催された。

今年は関東大震災発生から 100 年にあたることにちなみ「関東大震災 100 年 関東大震災と郵便展」が企画された。JAPEX 委員会では、震災切手研究会に展示構成を依頼。震災切手研究会の代表である鎌倉会員の全面協力で企画展示が実現した。

11 月 3 日には、鎌倉会員による研究発表会「関東大震災 100 年 震災郵趣と震災切手の楽しみ方」が開催され、多くの出席者に震災と郵趣に関する興味深いエピソードが紹介された(写真 1, 2)。

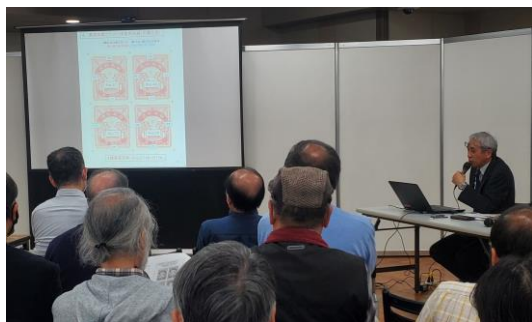


写真 1 鎌倉会員による研究発表会



写真 2 鎌倉会員による作品解説



写真 3 テープカット



写真 4 稲葉会員と福井元理事長夫人

JAPEX 会場では、日本郵趣協会元理事長福井和雄氏の追悼展として、今年 5 月に亡くなった福井元理事長のコレクションから 10 フレームを抜粋した追悼展示を行った。この展示を構成されたのは福井元理事長と親交の深かった稲葉会員である。JAPEX2023 には福井元理事長の奥様も来場され、会期初日に行われたテープカットに列席いただいた(写真 3, 4)。

JAPEX2023 の競争出品には 105 作品 333 フレームの作品が出品された。鎌倉会員がオープンクラスに出品された『関東大震災 100 年』は大金賞を受賞し、栄えあるグランプリに選出された(写真 5, 6)。

なお、JAPEX 委員長である池澤会員がオープンクラスに出品した『宮澤賢治の世界』は大銀賞を受賞した。



写真 5 鎌倉会員夫妻



写真 6 グランプリ表彰と鎌倉会員(中)

JAPEX 会場である東京都立産業貿易センター台東館 8 階の上野精養軒で 11 月 4 日に開催された懇親会では、この日が折しも誕生日であった鎌倉会員より、グランプリ受賞について喜びの挨拶があった(写真 7, 8)。



写真 7 懇親パーティーでの鎌倉会員の挨拶



写真 8 池澤・稲葉・鎌倉会員

なお、JAPEX2023 のステージイベントについてはオンライン配信を行った。現在も郵趣協会の公式 YouTube チャンネル (<https://www.youtube.com/@user-ul5vr5ed1e>) の「ライブ」メニュータブから閲覧が可能である。



早稲田大学歴史館企画展の記録

～フクちゃん「ワセダイガクノ巻」～

池澤克就

稲門フィラテリー89号で紹介した早稲田大学歴史館の企画展「フクちゃん ワセダイガクノ巻」を参観してきたので報告する。



会場風景 2023(令和5)年9月29日撮影

漫画家・横山隆一さん(1909～2001)がかつて朝日新聞・毎日新聞に連載した4コマ漫画の主人公・フクちゃんは早稲田大学のマスコットとして親しまれてきたが、この企画ではそのフクちゃんにちなんださまざまなグッズや原画、記事、応援合戦の写真などが展示された。



展示品は大学公式の記念品だけではなく、近隣商店街の宣伝アイテムなど多岐にわたっており、改めてフクちゃんの人気を感じ取ることができた。わが稲門フィラテリーに関連するアイテムも展示されており、早大切手研50周年にあたって横山隆一さんが描いた原画や記念カバーなどがファイルに格納されて並んでいた。





記念カバーを収めたファイルのキャプションには「横山隆一記念まんが館蔵」とあった。横山隆一記念まんが館は横山隆一さんの出身地である高知に2002年にオープンした記念館であり、多くの横山作品が展示保管されているそうである。こうした記念館で早大切手研にちなんだアイテムが長く保存されてゆくのはありがたいことである。



早稲田祭記念絵はがき(1957年)



早大切手研50年記念イラスト原画



この展示を参観したのは9月29日であったが、この日は偶然「フク(29)ちゃんの日」とのことで、オリジナルデザインのうちわが配布された。このうちわも、フクちゃんに関連アイテムとしてどこかで展示される日が来るかもしれない。



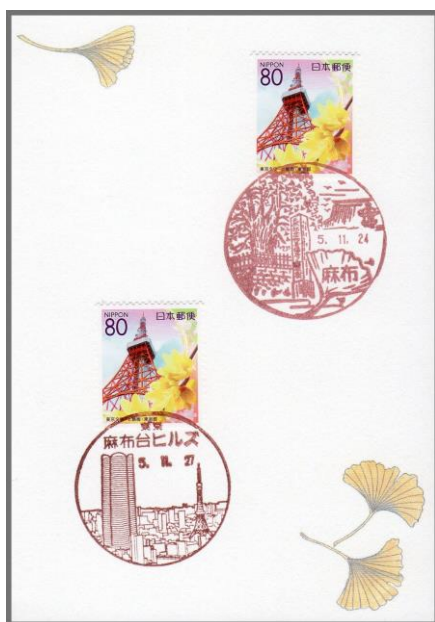
フクちゃんの日(29日)に作成した記念カード

■麻布台ヒルズ郵便局開局

2023 年 11 月 24 日、東京都港区麻布台にあった麻布郵便局が閉局し、11 月 27 日に新しく完成した麻布台ヒルズ森 JP タワー内の 4 階に「麻布台ヒルズ郵便局」としてオープンした。風景印のデザインも新しくなった。この地には 1930（昭和 5）年に建てられた日本郵政グループ飯倉ビル（旧通信本省庁舎）が建っていたが、再開発に伴い 2019 年に解体され、その跡地に建設されたのが麻布台ヒルズ森 JP タワーである。



麻布郵便局最終印と局名印



麻布郵便局 最終日風景印
麻布台ヒルズ郵便局 初日風景印

■関東大震災と郵便

今号は関東大震災特集ともいえますので最後に本書をご紹介します。前号でもご紹介しましたが、9 月 1 日に日本郵趣出版から『関東大震災～郵便



と資料が物語る 100 年前の大災害～』が発売されました。被災者の生々しい言葉が綴られた郵便物など歴史を物語る多数の貴重な資料を通して震災を語る本書は、日本郵趣協会の震災切手研究会代表でもある鎌倉会員が編集を担当されています。ぜひ手に取ってごらんください。

◇編集後記◇

はや師走。つい先日東京オリンピックが終わったと思ったら来年はパリ五輪。改めて時の流れの速さに驚いています。引き続き、お気軽に、原稿や写真、早稲田に関連する情報などをお寄せください。では皆様、良いお年を。

発行日：2023 年 12 月 1 日

発行・著作：稲門フィラテリー

発行人：池澤克就

〒150-0002

渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4 階

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：池澤克就 青柳次男

本会報からの無断掲載・複製は、メディアを問わず禁止します。